

R型流木捕捉工 日鉄建材（株）

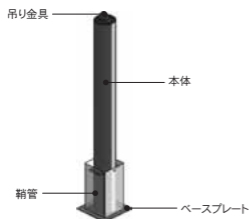
コンクリートに埋め込まれた鞘管の中に、流木を捕捉する柱用鋼管を差し込む構造で、それぞれの鋼管の隙間に砂を充填することにより、着脱が容易にできる構造となっています。

また、隙間の砂は流木の衝撃力の緩衝効果や荷重分散効果が期待できます。

特長

1. 既設の治山ダムに取り付けが可能
必要とする基礎の天端幅が小さいことから、流木捕捉工を取り付けるために、既設の治山ダムの天端幅を増厚する必要がありません。
2. 鞘管構造のため着脱が可能
想定外の荷重が発生して流木捕捉工が変形や破損をした場合についても、取替えが可能です。
3. 面外荷重に対しても安全
柱材に鋼管を使用しているため、どのような角度で荷重が作用しても、強度は一定です。

基本構造



適用範囲

鋼製部高さ	2.0m・3.0m
-------	-----------

礫の衝突が懸念される場合も適用可能

部材仕様

鋼管	JIS G 3444	一般構造用炭素鋼鋼管	[STK490]
	JIS G 3466	一般構造用角形鋼管	[STKR400]
	国土交通大臣認定	建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	[BCR295]
鋼板	JIS G 3106	溶接構造用圧延鋼材	[SM490A]

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。